

2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社リプライオリティ 上場取引所 福
コード番号 242A URL <http://www.repriority.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 伸之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 井手 雅雄 (TEL) 092 (686) 8300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	657	—	70	—	69	—	50	—
2024年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 50百万円(—%) 2024年9月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	45.11	44.91
2024年9月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2024年9月期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年9月期第1四半期の数値及び2025年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,599	1,089	68.1
2024年9月期	1,646	1,090	66.2

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 1,089百万円 2024年9月期 1,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	45.60	45.60
2025年9月期	—				
2025年9月期(予想)		0.00	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 2024年9月期の期末配当金45.60円には、福証Q-Board上場記念配当20円を含んでおります。

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,856	5.7	300	△5.2	300	△5.7	199	△7.0
								178.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期1Q	1,177,800株	2024年9月期	1,177,800株
2025年9月期1Q	64,400株	2024年9月期	64,400株
2025年9月期1Q	1,113,400株	2024年9月期1Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2024年9月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年9月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、雇用・所得環境の改善や各種施策の効果もあり、個人消費や設備投資が堅調に推移した結果、緩やかな回復基調を示しました。一方で、資材価格や人件費の高騰、日米金利差を背景とした円安の進行が影響し、物価上昇が継続しており、実質賃金はマイナス基調が継続するなど、消費動向は力強さに欠く状況が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。通信販売業界においては、通信販売市場の2023年度の売上高は、2023年4月から2024年3月までの累計で前年比6.7%増の13兆5,600億円(2024年8月27日発表のJADMA「2023年度通販市場売上高調査」より)となり、直近10年の平均成長率は8.8%と成長を続けております。

このような環境のもと、当社グループは、今や生活の上で欠かすことのできない通信販売会社への受注拡大支援事業を行い、また一般消費者の健康意識の高まりを背景に、無添加食品を中心とした通信販売事業を展開してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は657,445千円、営業利益は70,151千円、経常利益は69,953千円、親会社株主に帰属する当期純利益は50,224千円となりました。

〔通販支援事業〕

・D2C事業

コールセンター業務受託において、健康食品関連事業者向け業務受託に依存している状況を抑制するため、化粧品関連事業者向け受託の拡大に取り組んでまいりました。また、前期より実行しておりますコスト構造の最適化の効果により原価率が低下したため売上総利益を押し上げました。

・リテールメディア事業

原材料価格高騰の影響により、企業による紙面を使ったプロモーション需要は減少傾向にあります。このような環境の中、既存顧客の受注確保に努めると共に、新規顧客の開拓、新サービスの開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、通販支援事業の売上高（「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高（以下同じ））は481,773千円、営業利益は76,318千円となりました。

〔通信販売事業〕

通信販売事業においては、広告予算を増額し新規顧客獲得を推進しました。また、通信販売事業の戦略として、年度の前半に広告費を先行投資し、後半にかけて回収する施策を実行しております。この結果、通信販売事業の売上高は175,672千円、営業損失は6,167千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産は、前連結会計年度末比で38,335千円減少し、1,540,089千円となりました。

これは主に、売掛金が9,186千円、未成業務支出金が7,358千円増加した一方で、現金及び預金が49,250千円、商品が5,688千円、仕掛品が1,367千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比で8,084千円減少し、59,723千円となりました。これは主に有形固定資産が692千円減少し、投資その他の資産が7,391千円減少したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比で46,419千円減少し、1,599,812千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債は、前連結会計年度末比で40,041千円減少し、420,827千円となりました。これは主に、未払法人税等が81,578千円、未払消費税等が3,211千円、賞与引当金が11,350千円減少した一方で、買掛金が14,104千円、未払金が28,015千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比で5,831千円減少し、89,191千円となりました。これは、長期借入金が5,831千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比45,872千円減少し、510,018千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産合計は、前連結会計年度末比で546千円減少し、1,089,794千円となりました。これは、四半期純利益50,224千円の計上及び配当金の支払50,771千円によるものであります。この結果、自己資本比率は68.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月14日付「2024年9月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,268,630	1,219,380
売掛金	241,421	250,607
商品	30,011	24,322
仕掛品	1,716	348
未成業務支出金	8,119	15,477
前払費用	17,364	17,744
その他	11,160	12,207
流動資産合計	1,578,424	1,540,089
固定資産		
有形固定資産	27,031	26,338
無形固定資産	311	311
投資その他の資産	40,464	33,072
固定資産合計	67,807	59,723
資産合計	1,646,232	1,599,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,266	138,371
1年内返済予定の長期借入金	29,988	29,988
未払金	151,366	179,381
未払法人税等	93,990	12,412
未払消費税等	32,304	29,092
前受金	4,489	3,970
賞与引当金	20,450	9,100
その他	4,012	18,510
流動負債合計	460,869	420,827
固定負債		
長期借入金	95,022	89,191
固定負債合計	95,022	89,191
負債合計	555,891	510,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,808	217,808
資本剰余金	318,858	318,858
利益剰余金	644,155	643,608
自己株式	△90,480	△90,480
株主資本合計	1,090,341	1,089,794
純資産合計	1,090,341	1,089,794
負債純資産合計	1,646,232	1,599,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	657,445
売上原価	309,802
売上総利益	347,643
販売費及び一般管理費	277,491
営業利益	70,151
営業外収益	
その他	9
営業外収益合計	9
営業外費用	
支払利息	208
営業外費用合計	208
経常利益	69,953
税金等調整前四半期純利益	69,953
法人税、住民税及び事業税	12,437
法人税等調整額	7,291
法人税等合計	19,729
四半期純利益	50,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,224

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	50,224
四半期包括利益	50,224
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	50,224
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

記載事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額
	通販支援事業	通信販売事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	481,773	175,672	657,445	—	657,445
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	481,773	175,672	657,445	—	657,445
外部顧客への売上高	481,773	175,672	657,445	—	657,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,942	—	38,942	△38,942	—
計	520,716	175,672	696,388	△38,942	657,445
セグメント利益又は損失	76,318	△6,167	70,151	—	70,151

(注)1. セグメント調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,024千円